

シラバス

ナンバリングコード/科目番号	0ATGE57 / 01EQ118	
科目名	臨床薬剤学特論	
科目名 (英語)	Pharmaceutical Sciences	
授業形態	講義 (対面)	
標準履修年次	1 年次	
実施学期・曜時限等	秋 AB・水曜 6 限	
使用教室	4F204	
単位数	1	
担当教員名	本間真人、篠野健太郎、土岐浩介	
使用言語 (☑してください)	☑日本語 ・ □英語 ・ □バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	なし	
オフィスアワー等	随時 (メールで予定を確認のうえ、訪問すること) 本間真人 masatoh@md.tsukuba.ac.jp	
学位プログラム・コンピテン スとの関係	汎用	
	専門	基礎知識の活用力
授業の到達目標 (学修成果)	薬物の効果や副作用について薬物動態を用いて解析し論じることができる。 Upon completion of this course, students will be able to assess drug efficacy and adverse effects by using current knowledge of pharmacokinetics.	
他の授業科目との関連		
履修条件	なし	
授業概要	薬物の効果や副作用には薬物の体内動態 (体液・組織中濃度) が関与している。薬物の効果や副作用を理解するために 1) 薬物体内動態解析法、2) 薬物動態を制御する特殊製剤、3) 薬物動態に影響する代謝酵素や輸送蛋白の基礎知識と研究方法について学ぶ。 This course aims to lean pharmacokinetics for understanding drug efficacy and adverse effects in several aspects: 1) basic consideration of pharmacokinetic analysis, 2) pharmaceutical formulation for regulating drug disposition, 3) drug metabolizing enzymes and transporters.	
キーワード	薬物動態学、薬物間相互作用、副作用	
授業計画	第 1 回 (10 月 7 日、6 時限) 土岐浩介 DOKI Kosuke 臨床薬物動態学 Clinical pharmacokinetics 第 2 回 (10 月 14 日、6 時限) 土岐浩介 DOKI Kosuke	

	<p>薬物の吸収 Drug absorption</p> <p>第3回（10月21日、6時限）旗野健太郎 HATANO Kentaro</p> <p>薬物の組織分布 Drug distribution</p> <p>第4回（10月28日、6時限）旗野健太郎 HATANO Kentaro</p> <p>医薬品開発における薬物動態試験 Pharmacokinetic studies for drug development</p> <p>第5回（11月4日、6時限）本間真人 HOMMA Masato</p> <p>薬物代謝酵素・輸送タンパク Drug metabolizing enzyme and transporter</p> <p>第6回（11月11日、6時限）本間真人 HOMMA Masato</p> <p>薬物の副作用 Adverse effects of drugs</p> <p>第7回（11月18日、6時限）本間真人 HOMMA Masato</p> <p>薬物間相互作用 Drug-drug interactions</p> <p>第8回（12月2日、6時限）本間真人 HOMMA Masato</p> <p>治療薬物モニタリング Therapeutic drug monitoring</p> <p>第9回（12月9日、6時限）土岐浩介 DOKI Kosuke</p> <p>薬物動態学（トピックス） Pharmacokinetics (Topics)</p> <p>第10回（12月16日、6時限） 予備</p>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>授業は全て講義（100%）で実施する。 授業範囲を予習し、授業後には必ず復習すること。 All classes are conducted in lectures (100%). Preparing for the range of classes and reviewing them after class.</p>
単位取得要件	<p>3分の2以上の出席およびレポート提出を単位取得要件とする。 More than two thirds of attendance and submission of a report is required for earning the credit.</p>
成績評価方法	<p>出席状況とレポートにより評価する。 Evaluated by the attendance rate and the report.</p>
教材・参考文献・配付資料等	<p>特に定めない 参考書：臨床薬理学第4版（日本臨床薬理学会編、医学書院）</p>
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	